大阪大学「地域に生き世界に伸びる総合診療医養成事業」

医師・作家として活躍中の大阪大学ＯＢ

久坂部羊氏　講演会

“良医”と“悪医”

医師は〝良医〟になろうとし、患者も〝良医〟を求めます 。しかし、両者の思いは往々にして一致しません。時に、患者によかれと思って治療する医師が〝悪医〟と見られたりもします。患者と医療従事者の間に横たわる深い溝を、どのようにすれば埋められるのか。それを考えてみたいと思います。

―講師プロフィール―

1981年大阪大学医学部卒業。
一般外科医、外務省医務官として勤務後、
2003年「廃用身」で作家としてデビュー。以降、現代医療の問題を鋭く指摘し、生きることや死ぬことの意味を問う作品を発表し続けている。
2014年『悪医』で第3回日本医療小説大賞受賞。
2015年『移植屋さん』で第8回上方落語台本優秀賞受賞。

日時　2017年2月22日（水）
17：30～18：30

会場　大阪大学吹田キャンパス　医学部
最先端医療イノベーションセンター棟1階
マルチメディアホール
http://www.comit.med.osaka-u.ac.jp/jp/access.html

（参加費無料・事前申込不要）

お問い合わせ先：大阪大学医学部　医学科教育センター
内線 8223 /外線 06-6210-8223